

# チャトゲコナジラミの防除対策

チャトゲコナジラミは、一旦発生すると急激に増加して「すす病」等の被害をもたらします。平成16年の国内での初発生以降、全国の茶産地に拡大していましたが、26年に佐賀県内でも発生が確認されました。県内での発生を拡大させないために、発生地域での防除対策と、未発生地への拡散防止を徹底しましょう。

## ① チャトゲコナジラミの生態

**成虫**: 大きさ1mm程度。主に新芽に寄生して、年3~4回発生します。

**幼虫**: 大きさ1mm程度。楕円形で黒色。主に葉裏に寄生して甘露を出します。

**卵**: 淡黄色で大きさ0.2mm程度と小さく、肉眼では見えづらい。



写真提供: 京都府茶業研究所



◎チャトゲコナジラミの成育期間(25℃条件)

成育ステージ	卵	幼虫(1→4齢)	成虫	世代合計
所要日数	13~14日	28~31日	2~4日	43~59日

## ② チャトゲコナジラミによる被害

- ・成幼虫が葉に寄生して吸汁加害します。
- ・幼虫が出す甘露が葉に「すす病」を発生させます。
- ・成虫が目や口に入り、作業に支障をきたす場合があります。

寄生した成虫



葉のすす病



多発生した茶園



写真提供: 京都府茶業研究所



### ③ 未発生地域における対策

疑わしい虫、すす病葉を見かけたら関係機関へ連絡を！

茶苗木に寄生して移動した事例が多いため、発生地域からの苗木の導入時には、特に注意が必要です。

また、茶以外では、サザンカ、ヤブツバキ、サカキ、シキミのようなツバキ類にも寄生するため、あわせて注意が必要です。

#### 【常に心がけること】

- ①発生地からの苗木導入を行わない。
- ②発生茶園には立ち入らない。



#### 【苗木の導入にあたって】

- ①やむを得ず発生地から苗木を導入する場合は、定植直後のマシン油防除を必ず行いましょう。
- ②定植時に剪除した枝葉は土中に埋没するなどの適切な処理を行いましょう。
- ③他害虫との同時防除を兼ねて、登録農薬による防除を行いましょ(後の薬剤散布例の少発生園を参照)。



### ④ 発生地域での対策

発生初期の防除の徹底を！

#### ◎ 拡散防止

- ①発生茶園での作業後は、作業服をはたいたり管理機械の掃除を行い、付着した成虫や葉を出来る限り持ち出さないようにしましょう。
- ②複数の茶園管理を行う場合には、発生茶園での作業は当日の最後に行いましょう。
- ③バロンスクリーンは成虫が付着する危険性が高いため、未発生茶園への掛け替えは止めましょう。

#### ◎ 耕種的防除

幼虫は葉裏に寄生するため、枝条更新や裾刈りによる葉の除去は有効な防除法です。

- ①多発生茶園では、一番茶後の中切り・深刈り更新、または、二番茶後の浅刈り更新による物理的な防除を行いましょ。
- ②農薬散布前の「裾(すそ)刈り」により、寄生葉が減るとともに、農薬がかかりやすくなります。



枝条更新による葉の除去

## ◎ 薬剤防除

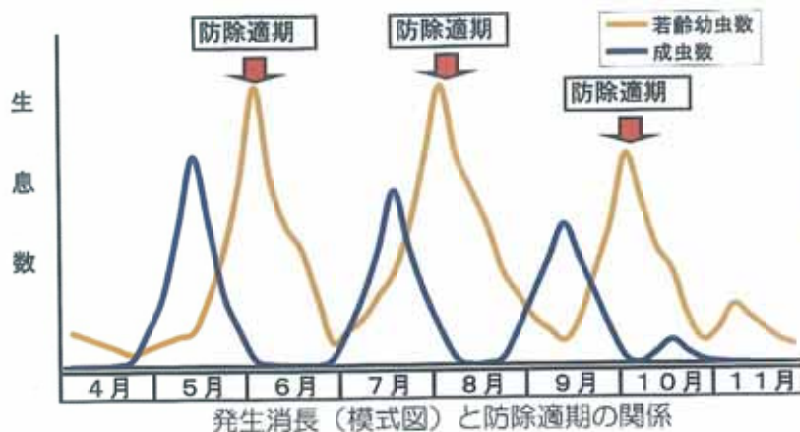
### 【防除適期】

卵 → 1 齢幼虫 → 2 齢幼虫 → 3 齢幼虫 → 4 齢幼虫 → 成虫



\* 成虫の発生が見られなくなった頃が防除適期です。

- ・マシン油以外の農薬の防除適期は、「若齢幼虫発生期」
- ・老齢(3, 4 齢)幼虫は農薬(マシン油以外)が効きにくい。
- ・成虫期防除は、密度抑制効果が低い。



◎実際の防除時期は、指導機関からの情報(黄色粘着トラップ調査)を基に行いましょう。

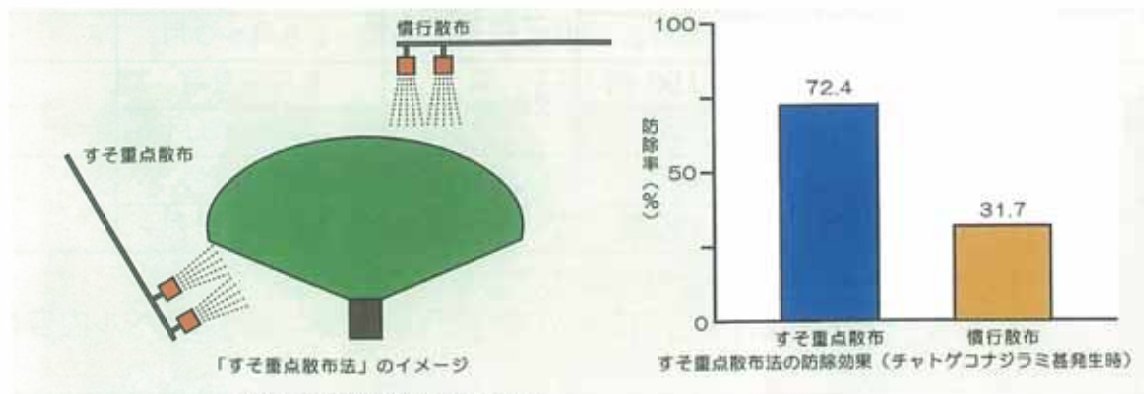
注)チャトゲコナジラミ研究推進連絡会原図

幼虫は葉裏に多く寄生するため、農薬散布は十分な液量(400ℓ/10a)を使用し、ハダニやクワシロカイガラムシ防除に準じて裾枝部分、樹冠内部までしっかり行いましょう。

### 【すそ重点散布法】

裾(すそ)部から茶株頂上部に向けて斜め上方に薬液を散布することで寄生が多い裾葉の葉裏に薬剤がかかりやすくなります。

- ・散布前には裾刈りを行う。
- ・ドリフト防止タイプの2頭口ノズルを用い、半うねずつ行う。
- ・液量は400ℓ/10aを目安に、歩行スピードで調節する。



注)チャトゲコナジラミ研究推進連絡会原図



## 【防除薬剤と防除体系】

月	旬	多発生茶園	少発生茶園
1～3月		マシン油散布(越冬幼虫の防除)	マシン油散布(越冬幼虫の防除)
4月	中旬	裾刈りの実施(被覆前)	裾刈りの実施(被覆前)
	下旬		
5月	上旬		
	中旬	一茶後葉層除去(中切り・深刈り)	
6月	下旬	(一番茶後の更新ができない茶園) 薬剤防除(時期はトラップ調査による)	薬剤防除(時期はトラップ調査による)
	上旬		
	中旬		
7月	下旬	二茶後浅・深刈り更新	二茶後浅・深刈り更新(発生程度と樹勢で判断)
	上旬		
8月	上旬	薬剤防除(時期はトラップ調査による)	薬剤防除(時期はトラップ調査による)
9月	下旬	薬剤防除(時期はトラップ調査による)	薬剤防除(時期はトラップ調査による)
10月			
11月	中旬以降	マシン油散布(越冬幼虫の防除)	マシン油散布(越冬幼虫の防除)

## 【茶での登録農薬一覧】

農薬名	希釈倍数	散布量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数
アブロード水和剤	1,000倍	-	摘採14日前まで	2回以内
アブロードエースフロアブル	1,000倍	200～400	摘採21日前まで	1回以内
ダントツ水溶剤	2,000倍	200～400	摘採7日前まで	1回以内
ハチハチ乳剤	1,000倍	200～400	摘採14日前まで	1回以内
ハチハチフロアブル	1,000倍	200～400	摘採14日前まで	1回以内
ダニゲッターフロアブル	2,000倍	200～400	摘採7日前まで	1回以内
ランネット45DF	1,000倍	200～400	摘採21日前まで	2回以内
コテツフロアブル	2,000倍	200～400	摘採7日前まで	2回以内
コルト顆粒水和剤	3,000倍	200～400	摘採7日前まで	2回以内
ディアナSC	2,500～5,000倍	200～400	摘採7日前まで	1回以内
トモノールS	100～150倍	200～400	5月～9月	-
	50～100倍		10月～3月	-
ラビサンスプレー	100～150倍	200～400	5月～9月	-
	75倍		10月～3月	
クミアイアタックオイル	100倍	200～400	4月～9月	-
	50～100倍		10月～3月	

注)平成26年度 施肥・病虫害防除・雑草防除のてびき(佐賀県)より

注)本内容は平成26年5月1日現在のもので、使用するには再度ラベル内容の確認をお願いします。

ご不明な点は最寄りのJA、農業改良普及センター、農業技術防除センター(0952-45-8153)、茶業試験場(0954-42-0066)にお問い合わせください。